

平成21年度 改正工種概要

番号	項目	改正項目の一例	
		現行(H20歩掛)	改正
1	鋼管・既製コンクリート杭打工(中掘工)		
	適用範囲の見直し ・杭種の適用範囲拡大 ・杭径の適用範囲拡大	- コンクリート杭径 400～800	混合杭(SC+PHC杭)にも適用 コンクリート杭径 400～1,000
	施工機械の見直し ・運搬機械の大型化(杭径 1,000) ・杭打設後処理機械の小型化	クローラークレーン 50～55t吊 バックホウ 山積0.5m ³	クローラークレーン 80t吊 バックホウ 山積0.45m ³
	日当り施工量の見直し ・杭10本当り施工日数が増加	(鋼管杭径 500、グラウト工法の場合) 1.53 日 / 鋼管杭10本あたり	1.72 日 / 鋼管杭10本あたり
2	切土及び発破防護柵工		
	積算手法の簡素化 ・日当り歩掛化 ・歩掛の大括り化	m ² 当り施工歩掛 防護柵形式により3区分	1日当り施工歩掛 防護柵形式による区分なし
	適用範囲の見直し ・防護柵高さの適用範囲拡大	防護柵高さ 3～10m	防護柵高さ 2.5～10m
	施工機械の見直し ・支柱立込機械の大型化 ・高所作業用機械の変化	トラッククレーン 4.9t吊 ローリングタワー	ラフテラッククレーン 10t吊 高所作業車
	施工形態の見直し ・横桁設置撤去の効率化	設置:56m ² /日 撤去:100m ² /日	設置:84m ² /日 撤去:132m ² /日
3	濁水処理工		
	適用範囲の見直し ・対象設備の適用範囲拡大 (トンネル用) (一般土木用)	処理能力 30m ³ 級 処理能力 30～40m ³ 級、60m ³ 級、100m ³ 級	処理能力 30～60m ³ 級 処理能力 30～60m ³ 級、100m ³ 級
	施工形態の見直し ・職種編成の見直し ・編成人員の減少 ： 濁水処理設備撤去(トンネル用) ： 保守点検(一般土木用)	機械工 機械工 5人 機械工 0.4人	設備機械工 設備機械工 4人(1人減) 設備機械工 0.1人(0.3人減)
	保守点検(トンネル用)歩掛の新規制定	-	(新規制定)
4	消波根固めブロック工		
	適用範囲の見直し ・ブロックの適用範囲縮小	ブロック実質量 50t以下	ブロック実質量 11t以下 ブロック実質量11tを超え50t以下は「消波工」へ移行
	施工形態の見直し ・コンクリート投入打設の機械化 (ブロック実質量5.5t以下) ： 労務人員の減少 ： 施工機械の追加	(人力打設) 13.7(人/100m ³) -	(クレーン打設) 7.7(人/100m ³) ラフテラッククレーン 25t吊
	ブロック据付(水中)歩掛の新規制定	-	(新規制定)

平成21年度 改正工種概要

番号	項目	改正項目の一例	
		現行(H20歩掛)	改正
5	伐木除根工		
	施工機械の見直し ・除根作業	バックホウ 山積0.8m3	バックホウ 山積0.45m3 および 掴み装置 0.7m級
	・整地(穴埋め)作業 ・集積(機械施工)作業	ブルドーザ 普通15t級 バックホウ 山積0.8m3 および 掴み装置 1m級	バックホウ 山積0.8m3 バックホウ 山積0.45m3 および 掴み装置 0.7m級
	施工形態の見直し ・植生変化による編成人員の変化 ： 伐木(下草刈)の編成人員増加 ： 伐竹の編成人員減少	2.7人 / 1,000m2 6.9人 / 1,000m2	3.1人 / 1,000m2 5.6人 / 1,000m2
6	情報ボックス工		
	積算手法の簡素化 ・日当り歩掛化	施工単位当り施工歩掛	1日当り施工歩掛
	施工機械の見直し ・保有形態の変化(リース化)	バックホウ 山積0.28m3(損料) トラック(クレーン装置付) 3t積2.9t吊(損料)	バックホウ 山積0.28m3(賃料) トラック(クレーン装置付) 4t積2.9t吊(賃料)
	舗装版破碎歩掛の新規制定 基礎材歩掛の新規制定	(舗装版破碎工を準用) (基礎・裏込砕石工を準用)	(新規制定) (新規制定)
7	砂防ソイルセメント工		
	砂防ソイルセメント工歩掛の新規制定	-	粒径処理歩掛の設定 攪拌混合歩掛の設定 混合材敷均し・締固め歩掛の設定
8	ニューマチックケーソン工		
	施工機械の見直し ・仮設備組立解体用機械の機種変化	トラッククレーン 16t吊	ラフクレーンクレーン 16t吊
9	橋梁補強工(足場工)		
	施工形態の見直し ・手摺先行型足場の標準化 ： 編成人員の変化 ： 足場材材料費の増加	20.27人 / 10m3 諸雑費率 51%	20.14人 / 10m3 諸雑費率 54%
10	歩道橋(側道橋)架設工		
	施工機械の見直し ・保有形態の変化(リース化)	トラック(クレーン装置付) 3t積2.9t吊(損料)	トラック(クレーン装置付) 4t積2.9t吊(賃料)
	施工形態の見直し ・足場材保有形態の変化 ・編成人員の減少 ・日当り施工量の減少 ： 支柱据付工(横断歩道橋)	枠組足場、吊足場(損料) 普通作業員1人 日当り施工量 13(t/日)	枠組足場、吊足場(賃料) 普通作業員0人 日当り施工量 9.3(t/日)
11	PC橋架設工		
	施工機械の見直し ・架設機械の大型化 日当り施工量の見直し ・日当り桁架設本数が増加	(プレテンションPC単純床版桁、桁重量9.7tの場合) トラッククレーン 45t吊 (プレテンションPC単純床版桁、桁重量9.7tの場合) 11本/日	トラッククレーン 100t吊 12本/日